2015年度交換留学生のQBS来学

QBSでは毎年、交換留学生を迎えて半年間学びを共にしており、2015年度は中国、そしてタイより12名の交換留学生がお越しになっています。皆さんとてもフレンドリーで、私たちも楽しく、刺激的な日々を過ごしています。

留学生の多くは、日本での生活が初めてという事で、来日当初は不安な事も数多くあったようですが、交換留学生歓迎会をはじめとした交流の中で、私たちQBSのメンバーともすっかり打ち解けています。彼らの留学生活をサポートするために、QBSのメンバーも一丸となっており、私たちの結束力がまた一段と強いものとなりました。英語が苦手ながらも、積極的に留学生とのコミュニケーションにチャレンジする人も多く、非常に有意義な経験になっています。

今後、英語開講の授業の中では留学生との英語での活発なディスカッションが期待されます。授業外においても積極的に交流して、QBSの学びとともに福岡での素晴らしい思い出を一緒に作っていきたいと思います。

生嶋 拓也（13期生）

QAN便り

QANでは、QBS修了生の期を跨いだネットワーク構築の一環として、QAN勉強会を行っています。新規ビジネスや関わっている仕事でのビジネスの話題、新しい視点を促す取り組み等について、卒業生の中から講師を選定し、月1回のペースで開催する予定で10月より取り組みを開始しました。第1回目は、10月21日（水）「創業特区のいまとこれから。未来都市福岡の起業環境とデザイン」をテーマに開催しました。福岡市の鳥越氏（7期生）からは、福岡市グローバル創業・雇用創出特区の次のステージに向けた取り組みの話、河本氏（6期生）からは、新たに創業した「たてものインスペクション株式会社（さくら事務所九州加盟店）」での業務に関連して、日本ではこれから新しく普及していくホームインスペクション業務分野（中古物件の住宅診断等）について話して頂きました。勉強会の前座には、岡本氏（6期生）より体験談「ステーキ食べて5キロ痩せました！～素人が糖質制限をしたら～」という修了生の年代では気になるトピックの話もあり、各々、現状や事例、活用を交えた話で、修了生の活躍を垣間見ることができました。参加者からも活発な質問や議論が行われ、有意義な時間となりました。

来月は、11月26日にエチオピアに2年間赴任していた楠元さん（7期生）にエチオピアの現状、2年間の生活で感じたアフリカについてお話頂く予定です。その後も毎月、思考を凝らしてより良いネットワークの構築を深める活動を行います。

山田 裕美（8期生）

QBS講義「アジアビジネス戦略」を担当する外国人招へい研究員・浙江大学Zhang先生のメッセージ

Thank the Dean of the Faculty of Economics and Professor Murafuji Isao for inviting me to teach in QBS. It is a great honor for me.

Three weeks have been passed since my arrival. Although I had studied in Europe and the USA, Japan is completely new to me. Therefore, it is also a great opportunity for me to get to know Japan and Japanese people, as well as Japanese culture. I have only been in a few places in Fukuoka yet, but I already found it is a very beautiful and attractive city.

People say nowadays we are living in a global village, but I didn't expect that Fukuoka is so close to my city. When I was on board in Shanghai, a flight attendant told me: "The fight normally lasts 1 hour and half, but if pilot flies faster, then we can arrive in 1 hour and 15 minutes." That actually is shorter than flight from Hangzhou (where my university is located) to Beijing.

For the course for QBS program, after a discussion with Professor Murafuji, I decided to focus on how culture impacts management practice and business operation in China and designate the course as ***Doing Business in China—A Cultural Perspective.*** As the economic relationship between Japan and China has been developing stronger and stronger, and I hope these lectures can be helpful to those who are working (or will work) with Chinese people and Chinese companies.

ZHANG Gangfeng, Associate Professor
School of Management, Zhejiang University

在校生紹介

久保田 洋充さん（12期生）

所属▶株式会社エーエヌディー

医療機関向けにコスト削減やキャッシュフロー改善などの経営支援サービスを提供し、社会保障費の抑制へも寄与したい、そういう想いで会社を設立、現在3期目を迎えました。

そんななか国内市場の限界を感じ「アジアにおいて、次代の医療物流を実現する」という目標を掲げ、中国をはじめとするアジア諸国に我々が日本国内で培ったICTとビジネスノウハウを基に日本とアジア諸国との医療情報や医療技術などを結ぶ架け橋となって、医療の発展に貢献することも当社の使命の一つと考えています。

アジアに強いQBSで経営者として学びなおしの機会を得ることで、加速的に事業成長に繋げたい、そんな思いで昨年入学し仲間と切磋琢磨しあう刺激的な日々をすごしています。

また、今年は中国の東北大学に半年間留学の機会を得、期間中に中国・瀋陽市に日本製ベビー用品ショップを開店し新規事業を始めました。時機を捉え、知恵を絞り、このスピード感でコミットメントすることが経営において重要であると、QBSでの学びにおいて体感しています。

丁 彦君さん（13期生）

私は中国の大学を卒業してから、留学生としてQBSに進学しました。職歴はないのですが、QBSを志望した理由は、将来ビジネスパーソンとしての判断力を身につけるための知識を得ることができると考えたからです。

実際にQBSに入学してみると、知識以上に得られるものがたくさんあります。講義での体系的な学びは勿論ですが、経験豊富な先生方や異業種の第一線で活躍しているクラスメイトとのディスカッションは、自分の学生的・主観的な考え方を、実務的・客観的に整理する良い機会となっています。教科書だけでは得られない「気付き」があり、職歴のない私にとって、今までなかった学びの楽しさを実感しており、そこにQBSの大きな魅力を感じています。

また、9月に行われたQBSのスタディツアーでは、中国の上海交通大学、復旦大学のMBA コースの学生さんと交流活動を行い、上海にある日系企業への訪問にも参加しました。このような機会を頂き、関係者の皆様には本当に感謝しております。知識だけでなく、多くの方々との出会いが得られることもQBSの魅力だと確信しています。

残り1年半、ＱＢＳで出会った素晴らしい仲間と一緒に頑張って行きたいと思っております。

編集発行／九州大学ビジネス・スクール
担　　当／QBS支援室
住　　所／〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
電　　話／092-642-4278
メールアドレス／bs@econ.kyushu-u.ac.jp

●九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ
〒812－8581 福岡市東区箱崎6－19－1
九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係
TEL.092-642-4167
ホームページ http://qbs.kyushu-u.ac.jp/
facebook.com/QBS.MBA

QBS 九州大学ビジネス・スクール Kyushu University Business School

Kyushu University Business School
QBS News Letter
九州大学ビジネス・スクール ニューズレター
ISSN 1882-871X
VOL.23
2015.11

編集発行▶九州大学ビジネス・スクール　担当▶QBS支援室　住所▶〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1　電話▶092-642-4278
メールアドレス▶bs@econ.kyushu-u.ac.jp　▶facebook.com/QBS.MBA

第5回 QBSビジネスプランコンテスト開催

2015年9月12日に第5回QBSビジネスプランコンテストが九州大学箱崎キャンパスの国際ホールで開催されました。

今年度は、「Go!デロリアン走行プロジェクト」で話題の日本環境設計株式会社・岩本美智彦社長にご講演いただき、リサイクルを通じて資源の奪い合いを避け戦争をなくすという情熱と、それを可能にするオンリーワンのビジネスモデル、そして大手企業とのライセンスやインドでの事業などマーケティングの視点をふまえながらお話しいただきました。影の最優秀賞と言われるほど会場を惹きつけた講演となりました。

ビジネスプランの発表では、QBSから2チーム、神戸大MBAの修了生、立命館大学、そして全国学生連携機構が参加しました。今回は立命館大学・QBS合同チームのTeam Ochaが最優秀賞、QBSチームの伊都ちゃんねるが優秀賞を受賞しましたが、ともに時代をとらえたプランだったと思います。

最後に、今年度のビジネスプランコンテストはビジネス・スクール学生会主催、日本政策金融公庫共催での開催でしたが、協賛、後援として多くの企業にご支援をいただきました。ご支援・ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。

ビジネスプランコンテスト実行委員長　砂山 洋樹（12期生）

九州大学（QBS）MBA×日経BizアカデミーPresents 「成長志向のMBA@福岡」開催！

九州大学ビジネス・スクールは2015年6月から7月まで、日本経済新聞社と共同で、日経BizアカデミーxQBS『成長志向のMBA@福岡』をJR博多駅会議室にておこないました。星野教授のレクチャーからはじまり、一蘭の吉冨社長のご講演まで、全7回の講義が開講されました。講義がすべて満席となる盛況ぶりで、一般の方々から九州大学ビジネス・スクールへの高いニーズの存在を知ることができました。今後もこのような取り組みを日本経済新聞社と共に行い、九州地域における経済発展に貢献していきたいと思います。

岩下 仁（マーケティング戦略・国際マーケティング）

九州大学ビジネス・スクール＜MBA課程＞平成28年4月入学生
特別選抜入試が変わりました！

QBSでは、変革に関する問題意識を有し、新たな事業価値の創造に挑戦する意欲を持って技術経営やアジア・ビジネスに関する学修に取り組み、価値創造の構想を深化させ、実行に移す意思を持つ学生を募集するべく、特別選抜を実施いたします。

※詳細は募集要項をご覧下さい。

出願期間／2016年1月4日（月）～1月8日（金）
試験期日／2016年1月31日（日）
募集人員／若干名
選抜方法／書類審査・口頭試問ほか

■入学試験に関するお問い合わせ先
〒812-8581　福岡市東区箱崎6-19-1　九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係
TEL▶092-642-4167　E-Mail▶kakgakusei@jimu.kyushu-u.ac.jp
ホームページ▶http://qbs.kyushu-u.ac.jp/　HPから募集要項のダウンロードができます。

新たな価値創造に挑むQBS修了生

坂本 剛さん（4期生）
QBキャピタル合同会社　代表パートナー

私は、2008年にQBSを修了後、2010年４月に九州大学の特定関連会社である（株）産学連携機構九州の代表取締役に就任し、様々な産学連携ビジネスの開発を推進してまいりました。その中でも一貫して携わってきたのが、大学の研究成果の事業化および大学発ベンチャー支援でした。

大学発ベンチャー支援に関する様々な取り組み、支援体制を構築してきたのですが、どうしても足りなかったもの・できなかったことが、創業前後における大学発ベンチャーに対するリスクマネーの供給でした。いわゆる大学発ベンチャーに特化したベンチャーファンドです。

その課題を解決するために、今年の４月にファンドの運営母体となるQBキャピタル合同会社を設立し、９月には地域の金融機関および事業会社の支援を得て、総額31億円強の九州大学を中心とした大学発ベンチャーに特化したファンド「QB第一号ファンド」を設立することができました。

このファンドは、九州・中四国地方では初の大学発ベンチャーに特化したファンドとなります。

私のバックグラウンドが技術系ということもあり、ファンド設立の過程においてエクイティファイナンスの基礎やイノベーションマネジメントの知識が役に立ちました。

今後、このファンドを活用した投資活動を通じ、地域発の大学発ベンチャーの成功事例を多数輩出し、大学の知を活用した地域産業の創出および地域におけるベンチャーエコシステムの構築に取り組みたいと考えています。

増本 衛さん（10期生）
株式会社トルビズオン　代表取締役

入学前はフリーの立場で動画制作の下請業務をしていました。その頃はビジネスに関する専門知識は無く、事業戦略もビジョンもありませんでした。しかし、そんな私がQBS卒業と同時に、正式に株式会社を設立するに至りました。

現在はコア事業であった動画制作ビジネスの幅を広げ、SNS事業戦略全般に関するコンサルティングを行なっています。更にこのノウハウを学習プログラムにし、市内の大学と共同でSNSを体系的に学ぶことのできる年間カリキュラムを立ち上げました。

ビジネスを本格的なコンサルティング領域にまで拡大するには、QBSでの学びが不可欠でした。映像制作というアートの領域で働いていた私がビジネスの言語を覚え、事業を拡大できたのは、MBAで学んだ知識体系のおかげです。

そして、産官学の連携が事業に与えるインパクトを教えてくれたのもQBSでした。福岡市の取組みにも積極的に参加した結果、市長とのシリコンバレー視察同行を実現し、それは現在進行中のビジネス案件に繋がっています。またアジア太平洋こども会議（APCC）の国際会議に参加するなど、国際舞台での活躍の場も増えています。

さらにQBSから得た人的ネットワークも役に立っています。日々の案件の中で、QBSの同窓生と顔を合わせることが多々あります。

もちろん、ビジネスのスピードが加速します。

今後もQBSでの学びや人脈を大切にしながら、地元九州・日本に貢献できるような事業を展開していきたいと思います。

イブニングビジネススクール好評開催中!

QBSではBBIQモーニングビジネススクールのライブ版として、一昨年よりイブニングビジネススクールを開催しています。

今年は7月24日（テーマ：「新たな事業価値創造のポイント 固定観念を取り除くことの重要性」「開発途上国市場への参入」）、8月18日（同：「イノベーションと地域創生」「経営環境の変化と幸福曲線」）、9月17日（同：「今、注目を浴びるマーケティングの視点」「京セラ哲学から学ぶ、成功のための習慣とビジネス・人生のヒント（3）」）と３回開催され、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。今後のイブニングビジネススクールは11月16日と12月15日に開催されます。詳細はQBSのHPやFacebookをご覧ください。

第24回ICABE学生交流プロジェクト

2015年秋ICABEは９月20日から４日間、村藤教授の引率で中国・上海を訪問しました。

大学交流では復旦大学管理学院と、上海交通大学の安泰経済与管理学院を訪ね、両大学の学生とワークショップを行いました。復旦大学では「文化的差異」などのテーマについてグループディスカッションを行ったほか、上海交通大学では４チーム対抗のビジネスプランコンテストを実施。短時間の中でも貴重な経験となりました。

また現地では企業２社を訪れました。参天製薬（中国）有限公司の蘇州工場では、樋本勉工場長から、数ある候補地の中から蘇州を選んだ過程や、厳しい許認可制度の現状などのお話を伺い、中国現地生産の大変さを垣間見ることができました。さらに三井塑料貿易（上海）有限公司では、九大OBの王徳明部長（'00年経済卒）から中国ビジネスの困難さについて、商社マンとしての体験談も交えたお話を伺いました。

今回のICABEでは、準備段階からコミュニケーションアプリ「微信（WeChat）」を多用しました。訪問前のやり取りで既に相手のパーソナリティを知り、訪問後には撮影した写真を即座にシェアし合う、という具合です。現地学生との交流方法の変化も肌で感じることができ、有意義な研修となりました。

大淵 和憲（12期生）

QBSがAAPBS（Association of Asia Pacific Business Schools）に加入

QBSは、2015年５月にアジアパシフィックのビジネススクール組織であるAAPBS(Association of Asia Pacific Business Schools)に加入することになった。AAPBSは2004年に設立され事務局はKAIST（韓国科学技術院）におかれている。AAPBSには、アジアを中心にアメリカやヨーロッパを含む21カ国から130のメンバーが加入している。アジアパシフィック地域のビジネススクールのみが正式なフル・メンバーになれる。復旦大、上海交通大学、浙江大学、KAIST、チュラロンコン大、タマサート大などの九州大学の提携校に加えて、清華大、香港大、香港中文大、香港科技大、台湾政治大、シンガポール大、サシン経営大学院などQBSが提携したいビジネススクールが加入している。日本からは、慶応大、早稲田大、明治大、名古屋商科大、立命館APU、グロービス等がメンバーである。アジアパシフィック外のビジネススクールや、認証評価基準協会等はアソシエートメンバーである。日本の大学基準協会、アメリカのAACSBインタナショナル等もアソシエートメンバーとして加入している。AAPBS加入により、多くの有力ビジネススクールが参加するイベントで交流が可能になり、2015年11月にプーケットで開催されるアニュアル・ミーティングにもQBSは参加予定となっている。

村藤 功（企業財務・企業価値創造とM&A）

修了生紹介

斉藤 健治さん（9期生）
所属▸福岡県庁

公務員の私がQBSに入学した直接の動機は、企業の経営全般について学び、当時携わっていた企業誘致の仕事に活かしたいというものでした。

しかし、いざ入学してみると、そこで得られたものは経営に関する包括的な学びだけではありませんでした。「こういう考え方もあるんだ」という新しい視点。「こんなに頑張れる人たちがいるんだ」という刺激。「この問題をとことん考えてみよう」という深い考察（1年間かけてじっくり1つの課題に取り組むプロジェクト演習）。「2年間走り抜けた」という充実感と、今後の人生を生き抜く上で有益な多くの学びが得られました。

修了後も、在学中に読み込めなかった書籍を読んだり、ビジネスプランコンテストにQBSの同級生たちと挑戦したり（残念ながら予選で敗退しましたが…）とQBSマインドを失わないようにしています。

さて、問題はこれからです。QBSで学んだ自分が社会に還元できる価値は何だろうか、ということを自問しています。

平井（豊田）真季さん（11期生）

所謂、OLという立場に倦厭（けんえん）していた日々の中で、猪口才（ちょこざい）と揶揄（やゆ）されることなく大いに発言できるQBSは心地よい論壇の場でした。

ミス福岡の活動を通して、レトリックの巧みさを自負していたことにより、プレゼンは嬉々として行ったものの、矜持（きょうじ）に留まらず、自らの本意を敷衍（ふえん）し賛同を得る能力をつけるために、寝る間も惜しんで打ち込みました。授業での切磋琢磨により日々、増えていく知識が事象を読み解く際の助けになりつつも、知識を更に教養まで高めるためには、自得したものを振り返り、創造するという一年間のゼミでの学びが大きかったと実感しています。

戦後の復興で博多のまちづくりに尽力した祖父が目標であるため、論文の研究テーマとしました。適度に田舎で都会である福岡、愛すべき博多の地の「よかとこ」の周知は、一辺倒の開発が進められる前に重要だと思われました。本質を突く力を伸ばしてくださった先生のご指導と仲間達に感謝しています。

良き師に出会い、自身のコアとなるものを掴める場所はQBSをおいて他に無いと言えます。現在は、思いが形となった成果物に、南賞という結果を得て確信した志を胸に、次のスタートを切っています。